

日本発ドイツ便り～ドイツでおいしいもの①: 買い食い編～

「ドイツって食べ物はおいしいの？ソーセージとじゃがいもしかないんでしょ？」この質問を何度聞いたことか！むきになって「おいしいものはたくさんあるし、そのソーセージやじゃがいもだって日本とは比べモノにならないくらい種類が豊富でおいしい！」と力説したものの、「百聞は一見にしかず」ならぬ「百聞は一口にしかず」で、食べてみれば絶対納得される自信はあるのですが……。要は「ソーセージ」と「じゃがいも」と聞いて、想像するのが「日本」のソーセージやジャガイモにビール。

それならドイツ料理が馬鹿にされるのも仕方ないかな……。でも皆さん。名前は同じでも似て非なるものですよ。

ドイツのおいしいもの。日本より「旬」の感覚が強いように思います。

春のシュパーゲル(白アスパラ)に初夏のイチゴやベリー類、秋のキノコ、冬は芽キャベツやイノシシやシカ、野鳥を使った料理。

基本は肉料理ですが、そのほかにも北ドイツの魚料理、それぞれの国境近くの文化の混じり合った料理、ビールに合う料理、豪快な料理、などなど。

まずはお手軽に美味しい「買い食い」から。

ドイツでは、まあ。日本とは比べモノにならないくらい、食べながら歩いている人が多いです。

- ① だいたいどの街も一番のお買いもの通りは歩行者専用で車とかが入ってこない。
- ② 街の真ん中には必ず広場があり、(市が立ったりするところです)ベンチとかたくさんあるし、ゴミ箱もどこでもある。

買い食いしやすい環境は整っています。(ということは、都市計画の問題ですかね?)

人気があるのは(日本のと一緒にされないように、表記はドイツ語です。)

通年あるもの:Wurst ヴルスト(ソーセージ)、ピザ、パン、Pommes ポメス(フライドポテト)

Döner Kebab ドーナケバブ(トルコの羊肉と野菜入りのサンドウィッチ)

夏のもの:Eis アイス(アイスクリーム)

冬のもの:Maroni マローニ(焼き栗) Glühwein グリューワイン(スパイス入りホットワイン)

こんなところでしょうか？



とある街の Kebab 屋さん。Döner Kebab とフルネームで呼ばれることは少なく、だいたい Döner(ドウナ)と呼ばれます。かなりボリュームがあるので、大口覚悟でかじってください。



以前どこかで食べた羊肉の代わりに、Pommes(ポメス:フライドポテト)たっぷりのサンドウィッチ。かかっているのはマヨネーズではなく、トルコの Zaziki というヨーグルトにハーブとにんにくたっぷりのソースでした。なかなかおいしかったですが、最後まで食べるのはかなり至難の業でした。パンもトルコのパンです。



国民的おやつ Curry Wurst(カレーヴルスト)焼いたソーセージを一口大に切って、ケチャップをかけてカレー粉を振るだけという単純なものです、おいしいです！私は牛肉ソーセージを使ったフランクフルトの Rindercurrywurst(リンダーカレーヴルスト)がお気に入りです。なんでもベルリンの隠れ名物らしいです。注文すると(もちろんレストランではなく、屋台とかお肉屋さんの一角とかで買うものです。)写真にあるような小さなパン、Brötchen(ブレートヒェン)がついてきます。



Wurst(ヴルスト)は基本的にはレストランで食べるものではなく、こんな感じでお肉屋さんの一角

夏になればどこに行っても Eis(アイス:アイスクリーム)です。



冬になれば、あったかい焼き栗や焼きじゃが。



本当に買い食い天国ですねー。ツアーで旅行中でもちょっとした自由時間やお買いものの合間に、ぜひ一度、現地の人と同じように買い食いしながら、街をぶらぶら歩いてみてください。きっと違う「ドイツ」が見えてきますよ！（そうしたら間違いなく「ドイツは食べ物がね・・・。」なんて言葉は出てこないはず！買い食いといえどあなどれません。）

おいしいもの①ということとは？続きがあるのかどうかは、まったく筆者の気まぐれということ。☺